

第64回国民体育大会新潟県競技力向上推進計画

本県選手の全国大会や国際大会における活躍は、県民に大きな夢と感動をもたらすものであり、とりわけ都道府県対抗形式で行われる国民体育大会において、本県の選手団が優秀な成績を収めることは、県民の連帯感を高め郷土愛を培うとともに、スポーツの普及・振興に絶大な効果を及ぼすこととなる。

この観点から本県選手の競技力を飛躍的に高め、第64回国民体育大会の成功の一翼を担う総合優勝と全国・国際レベルの各種大会における活躍を目指して本計画を策定するものである。

第1 推進方針

競技団体の充実強化、指導者の養成・確保及び地域に根ざしたジュニアからの一貫指導による「手づくり選手」の育成・強化を基本に据え、競技力向上対策を総合的に推進する。

第2 推進組織

- 1 新潟県
- 2 新潟県教育委員会
- 3 (財)新潟県体育協会
- 4 (財)新潟県体育協会加盟競技団体
- 5 学校・学校体育団体及び社会体育団体
- 6 市町村及び市町村教育委員会
- 7 企業及び企業が支援・育成しているスポーツ関係団体
- 8 その他競技力向上対策本部が必要と認める団体

第3 推進事項

1 推進体制の確立

- (1) 競技力向上対策本部に事務局を設置し、組織の拡充等を図りながら競技力向上対策事業を積極的に推進する。
- (2) 競技団体の運営体制・指導体制を強化するため、効果的な支援等により組織基盤を確立する。
- (3) 総合的に競技力向上を図るため、競技団体、市町村、学校体育団体、企業等の強力な連携を進める。

2 指導体制の整備

- (1) 競技団体へスーパーバイザーを配置し、指導体制を充実強化する。
- (2) ジュニアから継続的に選手を育成・強化するため、競技ごとの一貫指導システムの構築を支援する。
- (3) 全国の競技水準や強化システムなどについて、調査・研究・分析を行うため、競技団体強化担当者を派遣し、競技団体の強化計画の確立等へ反映させる。

3 指導者の確保・養成・配置

- (1) 優秀指導者の確保を図るため、U・J・Iターン等を推進する。
- (2) 各種講習会・研修会等を実施・支援し、優秀指導者を養成する。
- (3) 関係機関、企業等の協力を図り、指導者の適正配置及び派遣を推進する。

4 選手の発掘・確保・育成・強化

- (1) 選手の発掘・確保を図るため、スポーツ教室や合同練習会等の実施を支援する。
- (2) 未普及競技の選手発掘・確保のため、会場市町村・関係機関・団体の協力を得て競技の普及・振興を図る。
- (3) 優秀選手の確保を図るため、学校、市町村、企業等へのU・J・Iターン等を推進する。
- (4) 優秀選手の県外流出を防ぐため、魅力ある学校・指導者づくりなどを促進する。
- (5) ジュニア選手を発掘・育成するため、地域ジュニアスポーツクラブや学校部活動等の一層の充実を図る。
- (6) 会場地となる市町村の学校に実施競技の部活動設置を促進し、選手の確保・育成を図る。
- (7) 競技ごとに強化拠点地域を設定し、地域内の中・高校生を育成・強化する。
- (8) 優秀選手・学校・チームを指定し、強化合宿・遠征等により、重点的に育成・強化する。

5 スポーツ医科学の活用

- (1) 競技団体と県スポーツ医科学センターとの連携により、選手等の体力測定・動作分析等による科学的トレーニングを導入する。
- (2) スポーツドクター等の競技団体への参加・協力を促進し、スポーツ医科学サポート体制を整備充実する。

6 競技力向上の条件整備

- (1) 特殊競技用具の整備、練習会場の確保等強化活動に係る環境条件を整える。
- (2) 選手・指導者の強化活動への参加体制整備を促進する。
- (3) 選手・指導者の活動情報等を広く提供し、競技力向上に対する県民の理解・協力を促進する。

第4 計画の期間

平成14年度から平成21年度までの8年間とし、計画期間を3期に区分する。

- 1 第1期（育成期） 平成15年度まで
- 2 第2期（充実期） 平成16～18年度
- 3 第3期（完成期） 平成19～21年度

第5 推進事項の展開体系

| 推 進 事 項 | | |
|----------------|-------------------|--|
| 大項目 | 中項目 | 推進項目 |
| 推進体制の確立 | 競技力向上対策本部運営 | 競技力向上対策本部事務局体制の充実 |
| | 競技団体組織強化 | 競技団体の組織強化・改革の支援 |
| | 関係団体との連携 | 競技団体、市町村、学校体育団体、企業等の連携による強化体制の推進 |
| | 社会人スポーツ推進協議会の充実 | 社会人スポーツ推進協議会の充実 |
| 指導体制の整備 | 強化指導体制の確立 | スーパーバイザーの配置 一貫指導体制の確立 強化責任者等の指定 国体へのコーチ派遣 |
| | 競技力向上に関する調査・研究・分析 | 全国レベル把握などのための強化担当者等の派遣 |
| 指導者の確保・養成・配置 | 指導者の確保 | 優秀指導者のU・J・Iターンなどの推進 |
| | 指導者の資質向上 | 指導者講習会の開催 競技団体の主催する強化担当者研修会等の支援 指導者の県外研修 |
| | 指導者の配置等 | 学校への配置・派遣 民間企業への派遣 会場市町村及び公営スポーツ施設への配置・派遣 |
| 選手の発掘・確保・育成・強化 | 選手の発掘・確保 | 小学生スポーツ教室、合同練習の実施 未普及競技の育成 優秀選手のU・J・Iターンなどの推進 優秀選手の県外流出防止 |
| | 選手の育成 | 地域ジュニアスポーツクラブの育成 学校運動部活動の設置支援 小・中学生の合同練習等の実施 中・高校生の合同練習等の実施 |
| | 選手の強化 | 国体（候補）選手に対する年間を通じた強化活動の実施 優秀選手・学校・チームの指定による特別強化の実施 未得点競技に対する特別強化の実施 社会人スポーツへの強化支援 アドバイザーコーチの招請 |
| | | |
| スポーツ医科学の活用 | スポーツ医科学センターとの連携 | メディカルチェックの実施 測定、分析によるトレーニング処方 |
| | スポーツ医科学サポート体制の整備 | 競技団体へのスポーツドクター、トレーナー等協力支援 国体へのスポーツドクター、トレーナー等の派遣 |
| 競技力向上の条件整備 | 強化活動に係る環境の整備 | 特殊競技用具等の購入補助 練習用会場の確保 |
| | 強化活動への参加体制の整備 | 選手・指導者の強化活動への参加体制の整備 |
| | 県民の理解・協力の促進 | 強化活動に係る広報活動 |

第6 推進事項の展開計画

1 推進体制の確立

(1) 競技力向上対策本部事務局体制の充実

県体育協会に設置した本部事務局体制を充実強化し、競技力向上対策を強力に推進する。

* 県職員派遣等による本部事務局体制の充実

県職員を派遣し、事務局に予算会計等を分掌する総務課及び競技団体の指導に当たる推進課の2課体制とする。

競技力向上ディレクターの配置

(2) 競技団体の組織強化・改革の支援

競技団体の競技力向上対策が、円滑かつ効果的に展開されるよう、本部において競技団体の実態等を分析し、それに基づき適切な指導・助言等を行う。

* 指導等の内容

国体の選手強化に向けた意識改革、組織体制の指導等

強化計画の策定指導及び進捗状況の把握等

競技水準向上対策事業費の適正執行の指導等

(3) 競技団体、市町村、学校体育団体、企業等の連携による強化体制の推進

競技力向上対策に係る関係機関、団体等の密接な連携を進め、各分野の現状、課題等を踏まえた競技力向上対策推進体制を構築する。

具体的な連携を図るため、計画的に各種会議等を実施する。

* 各種会議の開催

競技団体理事長会議、競技団体強化責任者会議、競技力向上対策会議等

競技力向上対策本部の方針等を徹底するとともに、競技力向上対策推進上の課題と解決方策を明確にして、競技団体の実効ある強化活動を推進する。

中・高体連・競技団体連携会議等

学校体育連盟の専門部関係者及び競技団体強化責任者等により、中・高一貫指導体制の構築等について協議する。

二巡目国体会場地市町村・競技団体連携会議等

地域におけるジュニア育成や強化活動の条件整備等について連携を深める。

社会人スポーツ推進協議会及び企業・競技団体連絡会議等

成年選手のU・J・Iターンのしくみを整備するとともに、競技団体の強化活動に対する企業の理解・協力を推進する。

(4) 社会人スポーツ推進協議会の充実

社会人スポーツ推進協議会事業の充実と会員の拡大等により、選手、指導者のU・J・Iターンの受け皿づくり、強化活動の場づくりなどを推進する。

* 協議会の充実と企業会員の拡大

U・J・Iターンの受け皿づくり

- ・有望選手のターン情報及び会員企業情報等人材確保に係る情報のシステム化を促進する。
- ・企業チームの拡大が社会経済情勢の関係から多くを望めない中、複数企業で選手を確保する等のしくみを検討する。

強化支援事業の実施

- ・全国大会等における活躍が期待できる企業チーム及び社会人、大学生等で構成される社会人クラブチームの活動を支援する。

会員拡大等の取組

- ・チームや有望選手を擁する企業等を中心に、会員の拡大を図る。
- ・事業の広報宣伝、その他協議会活動に資するため、会費等の徴収を検討する。

2 指導体制の整備

(1) スーパーバイザーの配置

全国レベルの実績を有する中央指導者等を競技団体に配置し、主に強化責任者、強化担当者等に指導助言を行い、当該競技団体の指導体制の強化を図る。

また、必要に応じて直接選手に対して技術指導等に当たり競技力向上を図る。

* 配置方針

各競技の強化活動や競技水準の状況等を勘案して、受け入れ体制が整備されている競技について配置する。

(2) 一貫指導体制の確立

競技団体強化責任者、中・高体連専門部関係者等の連携を図りながら、指導者の確保・配置等に努め、強化拠点地域における地域ジュニアスポーツクラブ及び強化指定高校を核とした小学生から高校生までの一貫指導体制を確立する。

* 体制整備の方策

指導者間の共通理解・認識

一貫指導について、中・高体連・競技団体連携会議等により学校関係者、競技団体強化責任者相互の共通理解・認識を図る。

一貫指導マニュアルの作成

競技団体による、競技の実態・特性と選手の発達段階に沿って強化・指導方法を系統立てたマニュアルの作成を促進する。

ジュニア層の発掘、育成

地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業、未普及競技育成事業、強化拠点地域・強化指定校事業などの事業を通して、小・中学生から選手の発掘・育成を行う。

合同練習等の実施

強化拠点地域における中・高校生の合同練習等を通じ、一貫指導の共通理解に基づく中学生の育成と高校生の強化を図る。

(3) 強化責任者等の指定

第64回国民体育大会に向けて、競技力向上対策本部長が、競技団体の強化責任者等を指定し、責任ある強化指導体制を確立する。

* 指定内容

40競技を対象に、競技団体強化責任者を指定する。

その他、強化活動に当たって必要と認める指導者を指定する。

(4) 国体へのコーチ派遣

国体に県選手団の一員としてコーチを派遣することにより、代表チームの強化活動及び大会時における指導体制を充実させる。

* コーチの役割

コーチは、県代表チーム・選手の大会時におけるサポートや個別指導を行うとともに、国体参加都道府県の戦力等の分析を行い、各種別・種目の選手強化活動に資する。

(5) 全国レベルの把握などのための強化担当者等の派遣

競技団体の強化担当者等を、国体を始めとした全国大会や競技力の高い都道府県等に派遣して、競技水準の把握・分析、強化システムの調査等を行い、競技団体の強化計画、選手の指導に反映させる。

* 派遣内容等

国体、全日本大会、インターハイ等の大会又は先競技力の高い都道府県への派遣は、競技団体の実態を踏まえ内容を選択して実施する。

3 指導者の確保・養成・配置

(1) 優秀指導者のU・J・Iターンなどの推進

優秀指導者の確保を図るため、社会人スポーツ推進協議会活動などを通じ競技団体、企業、県、市町村等の情報を集約・提供するシステムを構築し、大学生、社会人のU・J・Iターンの受け皿づくりを推進する。

* 推進方法

企業関係に対しては、U・J・Iターン等の情報を社会人スポーツ推進協議会が集約・提供し推進する。

公務員（教員、県・市町村職員等）関係等に対しては、競技力向上対策本部が情報を取りまとめ、関係機関・団体等に提供し推進する。

(2) 指導者講習会の開催

競技力向上対策本部が各競技団体の中核的指導者を対象に、指導者講習会を開催し、選手強化の戦略等についての知見を広め、指導実践力を向上させる。

* 指導者講習会の内容

スポーツ医科学の講座、トップアスリート等の講演
競技別、課題テーマ別の分科会等

(3) 競技団体の主催する強化担当者研修会等の支援

競技団体の行う技術指導研修会等を支援し、指導者を養成する。

* 研修会等の支援内容

研修会等は、競技団体ごとに指導者の指導力の実態・課題を踏まえて養成すべき対象・内容等（中級・上級などのグレード別、育成、医科学などの分野別）を定めて計画するよう指導する。

競技人口の少ない未普及競技等においては、スーパーバイザーの活動により代替・補完する。

(4) 指導者の県外研修

競技団体において、第64回国体選手強化の中心となる指導者を県外の優秀チーム、指導者の下に派遣し、指導力を高める。

* 派遣内容

全競技団体を対象に、派遣の方向で検討する。

(5) 学校への配置・派遣

専門的知識・技術を有する指導者を強化拠点地域の中学校、強化指定校（高校）に配置するよう関係機関等に要請するとともに、競技団体強化担当者等を学校に派遣し、学校関係者と連携し、競技力の向上を図る。

* 配置等の内容

強化指定校に専門的な指導力のある教員等を配置し、学校の運動部活動は拠点地域内の合同練習等により選手の強化を図る。

専門的技術指導ができる者が極めて少ない競技には、日常的に選手を育成できる育成指導者を確保・配置する。

競技団体強化担当者を、強化拠点地域・強化指定校等に派遣し、選手の発掘・育成・強化を行い、競技力の向上を図る。

(6) 民間企業への派遣

(7) 会場市町村及び公営スポーツ施設への配置・派遣

競技団体の強化担当者、指導者等による、企業チーム、地域ジュニアスポーツクラブ、スポーツ施設への円滑な派遣等を推進する。

* 民間企業等への指導者の派遣

各競技団体の指導者の実態、派遣先における指導効果等の実態を勘案して派遣するとともに、その円滑な受入れを促進する。

4 選手の発掘・確保・育成・強化

(1) 小学生スポーツ教室、合同練習の実施

市町村、競技団体等が行う小・中学生を対象にした教室、合同練習会、大会等を通じ、優秀タレントの発掘・育成ができるよう指導・助言及び支援等を行う。

* ジュニア層の発掘・育成

地域ジュニア競技スポーツクラブ育成、未普及競技育成などの諸事業を通じて、選手の発掘・育成を図る。

(2) 未普及競技の育成

競技者、指導者が極端に少なく、かつ全国的な大会において実績のない競技の普及・強化を推進する。

* 未普及競技の育成支援

市町村、学校等の協力を得ながら、当該競技団体が行う練習会、合宿、遠征等の実施を支援する。

(3) 優秀選手のU・J・Iターンなどの推進

優秀選手の確保を図るため、社会人スポーツ推進協議会の活動などを通じ競技団体、企業、県、市町村等の情報を集約・提供するシステムを構築し、大学生、社会人のU・J・Iターンの受け皿づくりを推進する。

* 推進方法

企業関係に対しては、U・J・Iターン等の情報を社会人スポーツ推進協議会が集約・提供し推進する。

公務員（教員、県・市町村職員等）関係等に対しては、競技力向上対策本部が情報を取りまとめ関係機関・団体等に提供し推進する。

(4) 優秀選手の県外流出防止

中学生の高校進学や大学生等の就職による県外流出を防止するため、競技団体と中・高体連等の連携を図り、指導者の養成、地域ジュニアスポーツクラブの育成、強化拠点地域・強化指定校事業等の取組等を通じて一貫指導体制を構築するとともに、社会人スポーツ推進協議会事業等を通じ成年選手の受け皿づくりを推進する。

* 中学生の県外流出防止

一貫指導体制の整備、指導者の配置、推薦入試の活用等により県内高校への進学を推進する。

* 大学生等の県外流出防止

選手のU・J・Iターンの受け皿づくりを推進する。

(5) 地域ジュニアスポーツクラブの育成

地域において、年齢や学校枠を越えた新しい一貫指導体制を構築することにより、選手の発掘・育成・強化を図るため、市町村が実施している地域ジュニアスポーツクラブの育成支援を行う。

* 地域ジュニア競技スポーツクラブの育成

各競技ごとに、国体開催会場地市町村及び強化拠点地域の対象となる市町村に重点を置きながら、ジュニア層の発掘・育成を図る。

(6) 学校運動部活動の設置支援

本県においては、競技力向上を学校運動部活動に頼らざるを得ない競技もあることから、第64回国体開催会場地市町村を中心に、実施競技の普及・強化を図るため、学校及び関係機関等に当該競技の運動部活動設置要請等を行う。

* 未普及競技の運動部活動設置支援

中学及び高校に指導教員や外部指導者の配置を要請する。
競技団体の強化担当者の派遣や特殊競技用具貸与による支援を行う。

(7) 小、中学生の合同練習等の実施

学校枠や年齢を超えた交流活動等により、知識、技術等の向上を図る。

* 合同練習会の実施

地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業等を通じて推進する。

(8) 中・高校生の合同練習等の実施

競技別に強化拠点地域を設定し、地域内の複数の高校を強化校に指定して、中学生を含めた合同練習会等を実施し、中・高連携を図りながら一貫指導体制を構築する。

* 強化拠点地域・強化指定校の制度

強化拠点地域の強化指定校は運営委員会を組織し、強化指定校の強化や地域内のジュニアの育成・強化を行う。

強化拠点地域・強化指定校の中から、特に強化の中心的拠点として活躍が期待できる高校を重点指定校とし、重点指定校以外の高校を一般指定校とする。

(9) 国体（候補）選手に対する年間を通じた強化活動の実施

第64回国体に向けて、国体における本県選手団の総合成績の着実な向上を目的に、全競技団体を対象に年間を通じた強化練習、合宿、遠征等の強化活動を支援する。

* 年間を通じた強化活動

国体候補選手の育成

・年間を通じて強化を図るため、国体終了後早い段階から国体候補選手を選定し、強化活動を実施する。

・国体次期候補選手を国体県代表チームの強化練習会、遠征等に参加させ強化を図る。

国体強化合宿

・競技団体の強化計画に基づいて実施する強化合宿・遠征等を支援する。

・国体合宿費の競技団体への配分については、過去の競技実績等を踏まえて措置することを基本とする。

強化費の後期配分

・北信越国体通過競技種別に対して、本県へ向けた最終強化合宿費を助成する。

(10) 優秀選手・学校・チームの指定による特別強化の実施

第64回国体に向けて、本県競技スポーツのリーダー的役割を果たす選手の育成を図るため、優秀選手、企業チーム等を指定し、強化合宿等の支援を行う。

* 指定による強化

中学生等の指定

競技団体の選定する今後の本県の少年種別を担う優秀中学生等を毎年指定し、強化活動を実施する。

強化選手の指定

全国レベルにある選手を毎年指定し、本県の牽引的存在になるよう強化活動の支援を行う。

企業チーム等の指定

社会人スポーツ推進協議会の選定する強化支援企業チーム等の中から、特に競技力の高い企業チーム等を特別指定する。

強化指定校の重点指定

強化拠点地域・強化指定校における成果等を勘案し、強化の中心的拠点校として相当の活躍が期待できる学校を重点指定校として位置づけ、特別強化を行う。

(11) 未得点競技に対する特別強化の実施

競技得点の獲得が厳しい競技に対して、競技団体組織、指導者、選手強化方策等の全般にわたり原因を徹底検証・分析し、それに対応した特別強化を実施する。

* 未得点競技の特別強化

対象競技の検証・分析を行い、課題に対応した特別強化策を実施する。

(12) 社会人スポーツへの強化支援

各競技の成年種別の強化を図るため、社会人スポーツの充実を推進する。

* 強化支援事業

企業チーム、社会人クラブチームに活動費を助成する。

(13) アドバイザーコーチの招請

競技団体が各種別において、第64回国体に向けた強化選手・チームを選定、編成した段階において、強化の効果を上げるために、全国レベルで実績のある中央指導者等を強化活動に招請する。

* アドバイザーコーチの招請

競技団体の各種別の実態に応じて、アドバイザーコーチを定期的に招請する。

5 スポーツ医科学の活用

(1) メディカルチェックの実施

(2) 測定、分析によるトレーニング処方

国体（候補）選手、ジュニア選手等を対象にスポーツ医科学センターとの連携によりスポーツ医科学サポートを支援し、選手の競技力向上に資する。

* スポーツ医科学サポート

競技団体への啓発を図り、計画的、年次的に対象者を拡大する。

内容：安全検査（メディカルチェック）、体力測定、動作分析

- (3) 競技団体へのスポーツドクター、トレーナー等協力支援
- (4) 国体へのスポーツドクター、トレーナー等の派遣

競技団体がスポーツ医科学の専門家と連携・協力を図りながら行う日常の強化活動を支援し、競技力を向上させる。

また、スポーツドクター等を国体に派遣し、スポーツ医科学サポート体制の強化を図る。

* スポーツドクター等の協力支援

県医師会等との連携を図りながら、条件の整った競技団体を対象に、競技団体とスポーツ医科学の専門家との協力関係を支援するとともに、スポーツドクター等を国体へ派遣する。

6 競技力向上の条件整備

(1) 特殊競技用具等の購入補助

選手の育成・強化及び競技ルールの変更により緊急に必要な競技用具等の中で、高額なため競技団体が単独で購入することが困難なものについて、経費を補助する。

* 特殊競技用具等整備補助

緊急度、必要度、競技団体の実態等を勘案して、年次的、計画的に補助する。

(2) 練習用会場の確保

日常的に行う強化練習等が円滑にできるように、会場地市町村施設及び民間施設等の確保を図る。

* 会場の確保

会場地市町村、競技団体連絡会議、社会人スポーツ推進協議会等において練習会場確保の仕組みづくりを進める。

市町村等の施設管理者に対し、練習会場の確保及び使用料の配慮措置を要請する。

(3) 選手・指導者の強化活動への参加体制の整備

選手・指導者が競技団体等の行う強化活動等に円滑に参加できるよう、サービス・勤務及び学校教育活動の取扱いなどの配慮を関係機関及び企業等に要請する。

* サービス・勤務等の取扱い

行政機関

職専免等サービス・勤務関係の取扱規程の整備・適用を要請する。

民間団体

社会人スポーツ推進協議会において共通理解を得るための方策を検討し、関係企業・団体に対し、勤務上の配慮等を要請する。

* 学校教育活動の取扱い

生徒の強化活動に伴う学校教育活動の取扱い等について関係機関・団体等に要請し、参加体制の条件整備を図る。

(4) 強化活動に係る広報活動

第64回国体に向けた選手強化活動に対して、県民の理解・共感を得るための広報活動を展開し、機運の醸成を図る。

* 広報活動

(財)新潟県体育協会等のホームページによる各種強化活動の広報

県民だより・県提供広報番組の活用及び市町村広報誌等による広報の要請

各種媒体による広報の検討